

令和7年(2025年)1月30日

北上・西和賀観光物産展 初日レポート

令和7年1月30日、いわて銀河プラザにて北上・西和賀観光物産展が2日間の日程で開催されました。本稿では、初日の模様を速報としてお伝えします。

概要

北上・西和賀観光物産展は、北上・西和賀観光連絡協議会の主催により、毎年恒例のイベントとして開催されています。今年も民話研究会による口演も行われ、来場者の注目を集めています。



物産展示

会場では、北上・西和賀地域の特産品が多数展示・販売されています。日本酒、リンゴ、餅、洋菓子などバラエティ豊かな商品が並び、試食コーナーも設けられています。来場者へのアンケートも実施されており、今後の物産展運営に活かされることが期待されます。

私は、事前に物産展のチラシを入手していたため、目当ての純米吟醸酒鬼剣舞とリンゴを迷うことなく購入することができました。



民話の語り

物産展のもう一つの目玉は、民話研究会による口演です。初日は4名の語り手が北上弁の民話を披露し、会場は温かい雰囲気になりました。立ち見客を含め20名以上が熱心に聞き入り、民話の世界に浸りました。

演目



びっくり（高橋道直氏）



雷様の嫁子（菌牧江氏）



トラ猫と和尚さま（千田直氏）



笠地藏（小野寺り子氏）

まとめ

今回の物産展では、チラシの内容が充実しており、来場者はスムーズに買い物を楽しむことができました。試食コーナーやアンケートの実施など、主催者の改善意欲も感じられました。年に1回の開催にとどまらず、年2回以上の開催も検討する価値があるのではないのでしょうか。また、私は北上市職員の説明を受け、温泉付きの駅「ほっとゆだ」に興味を持ちました。今年の帰省時に立ち寄ってみたいと考えています。



今後の展望

北上・西和賀観光物産展は、地域を盛り上げる上で重要な役割を担っています。今後も継続的な開催や内容の充実を通じて、更なる発展を期待したいです。